皆様の声を国へ届けます

第14回　中森ふくよのタウンミーティング　防災編　開催

H18.5.6 浦和東武ホテルにて

安倍先生より
新たな挑戦への支援策が打ち出された。

2006年(平成18年)8月7日　月曜日　読売新聞

中小の再起業
融資制度検討

安倍官房長官は6日、さいたま市内のホテルで講演し、倒産した中小企業の支援策として「再チャレンジ融資制度のような仕組みをつくりたい」と語り、中小企業の経営者などの再起業を支援する融資制度を検討する考えを明らかにした。また空洞化している地方の商店街を活性化するため、「中心市街地活性化」を検討する組織を今月中に内閣官房に設置する考えを記者団に示した。

会場と意見交換

災害時のために

★ヘリコプターの離発着場の確保。
★緊急事態に対処できるよう、看護師の医療範囲を拡大。
★建物の耐震構造の推進、貯水池等の確保。
の声が上がった。

今年も「防犯ボランティア」予算が拡大

H15～16年

37万名の署名が寄せられた
★　市民の防犯窓口の設置
★　防犯ボランティアの必要経費の支援を求めて

H16年

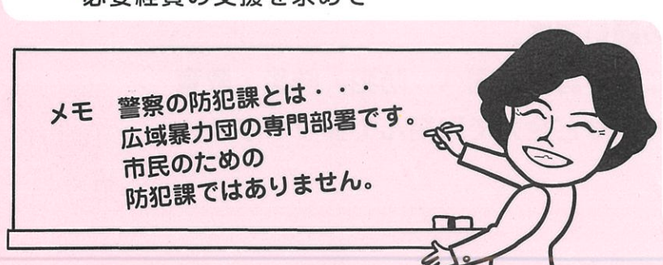
左の要望の趣旨を、自治会長さんたちと国に提出した

H17年決定

警察庁に犯罪予防の窓口
生活安全局の設置
「地域安全安心ステーション」
モデル事業スタート

「地域安全安心ステーション」事業の推移

	予算額	全　国
H17年度	225百万円	100ヶ所
H18年度	128百万円	231ヶ所
H19年度	154百万円	100ヶ所



みんなの力を一つにして実現させよう！

さいたま市で、春植えた稲を9月に刈取しました

食料自給率の向上を！
まず50%にしよう

日本の食糧自給率は、40%

先進国で最も低いのです。
食料の7割（年間5,800万トン）を輸入して、3分の1 は残飯として捨てています。
安全対策の面からも、むだを無くし食料自給率を上げることは最重点課題です。
減反対策をストップし、食料自給率を50%まで上げましょう。

北方領土返還を！

納沙布岬（のさっぷみさき）の目の前は北方領土。
島を終戦直後ロシアが占領し、島民は着の身着のままで逃げてきました。
北方領土は日本古来の領土です。
北方領土の復帰を求めて、支援の輪を広げよう。

虐待・いじめについて

現場主義

警察や児童相談所へ、相次ぐ虐待の通報や相談があっても、事件を未然に防げない現実。
そこで、児童虐待の早期発見、関係機関への通告・援助要請などで、さらに踏み込んだ措置が行なえる必要性を痛感

長岡京市に視察

国会で質問
いじめを防ぎ、死亡0をめざして

第三者機関の設置で一本化を！
虐待やいじめは犯罪です。学校におけるいじめを文科省は省内で、都道府県は教育委員会の中で解決しようとし、隠蔽体質になっています。
“国は子供の将来に責任を持つべき”で縦割りの弊害を無くし、内閣府の中に窓口を設け、一本化を図る必要があり提案しました。

児童相談所には危機を察知して対処できるよう警察OBの活用を！
提案しました。

ただ今、第三者機関の設置は継続審議、警察ＯＢの活用は実現の方向で、進行中！

11月6日衆議院内閣委員会